

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（交通課長説明）
	(1) 諮問事項
	自転車利用者の交通事故抑止対策
	(2) 答申事項
	ア 学校や会社と連携した自転車利用者に対する車両認識の醸成を始めた安全指導、交通ルールの遵守の推進
	イ 乗車用ヘルメットの着用促進に向けた広報啓発活動の推進
	ウ 自転車・電動キックボードに対する取締り、警告活動の実施
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	(ア) 管内の小学校において、児童、保護者、教員に対し体験型の自転車教室を実施
	(イ) 管内の事業所に赴き、自転車安全講話を実施
	(ウ) 外国人技能実習生に対し、日本の交通ルール及び自転車乗車訓練等の安全教室を実施
	イ 答申事項イについて
	(ア) 警察署玄関ロビーに数種類の乗車用ヘルメットを展示し、着用促進に向けた啓発活動を実施
	(イ) 管内の自転車販売店に赴き、来店客に対し「自転車のルール」「ヘルメットの安全性」等を周知するチラシの配布を依頼
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(ウ) 管内の商業施設店頭において、市役所職員と合同で啓発活動を実施	
ウ 答申事項ウについて	
(ア) 駅周辺において、自転車に対する指導取締り活動を実施	
(イ) 管内の電動キックボードレンタル業者に対し、電動キックボードの交通ルールのチラシを利用客へ配布するよう依頼	
4	各種報告
管内の交通事故発生状況（交通課長説明）	
5	諮問
(1) 諮問事項	
優秀な人材の確保方策	
(2) 諮問事項の設定理由（警務課長説明）	
ア 令和5年度の受験者数は、10年前（平成25年）と比較すると約5割減少している。	
イ 令和2年度から2年連続で合格者数が採用必要数を下回っている。	
ウ 警察がこれまでに全面的に打ち出してきた「誇りと使命感」に加え、大手就職あっせん企業が実施した、大学生就職意識調査結果を踏まえた取り組みが必要である。	
6	協議
委員	・ 人集めはどこの会社も苦労している。サービス業は、人は集まるが辞職率が高く、すぐに転職してしまう。
	・ 最近の若者は、お金よりも自分の存在感や充実感を優先し、やりがいのある仕事なら多少お金が少なくても良いと考えている。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
	<ul style="list-style-type: none"> 警察は安定しているが、いざ入ってみてイメージと違いすぎて辞職してしまうのではないかと思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 会社依存ではなく、個人で事業を立ち上げて稼ぐ人が増えている。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 一般企業とは違い、意志の強い人が警察を受けると思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 優秀な人材確保の「優秀」の意味が難しく、面接だけでは分からないと思うので、入ってからの教育で優秀な人材に育てれば良いと思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 会社では、誇りと使命感ではなく、仲間や地元を重視する人が多くなっている。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 企業と人は相性だと思っているので、必ず会社を見学させているが、入社後にやはり違うといって辞めてしまう者がいる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 少子化が進むので、AIや機械の導入を考えないといけないと思う。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 大企業では、自分の将来が見えないという理由で、優秀な者ほどやめてしまう傾向にある。 		
	<ul style="list-style-type: none"> やりがいを持って働けるかがポイントになると思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 新規の採用は、直接スカウトをし、会社見学を通じて従業員と接する機会を設けている。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 警察はハードルが高く感じている。 		
	<ul style="list-style-type: none"> テレビ番組の警察特番は、見る側は楽しいが、いざ自分が警察になろうと思う人には、ノルマや仕事のきつさなどが伝わってしまい敬遠されているのではないか。もっと明るい内容でやりがいについて 		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
ても放送すればよいと思う。	
委員	・ 民間企業と警察では、採用の合否の出るタイミングが悪いと思う。
	・ 就職活動を早く終わらせたい学生が多いと思う。
	・ インターンシップや職場体験を増やす。
	・ 警察は福利や給料もいいので、民間企業と同じインターネットツ
	ールを使用し、横並びで広報をすればよいと思う。
委員	・ 信頼関係が一番大事だと思う。面接できれいごとを言わず、実情
	を伝えて納得して入社してもらおう。
	・ 従業員とのコミュニケーションを頻繁に取り、信頼関係を築いて
	いる。
委員	・ 武道関係者のみでなく、あらゆる分野へリクルートの幅を広げて
	はどうか。
7 答申	
(1) 警察職員採用活動各種広報の実施	
(2) 魅力ある職場環境の発信	
8 その他	
次回開催予定は、令和6年11月下旬頃とする。	
記録者	警務係長